

# 令和8年 第4回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和8年4月9日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	榊原 寛二			
教育長職務代理者	森田 教夫	委	員	鋤柄佐千子
委 員	堤田 綾子	委	員	浅野俊太郎

出席職員の氏名

教 育 部 長	長澤 成江	学 校 教 育 課 長	森田 光一
生涯学習スポーツ課長兼中央公民館長	横田 覚	町 民 会 館 事 務 長	森田 明男
歴史民俗資料館長	奥野 真光	生涯学習スポーツ課課長補佐	神谷 芳美
給食センター所長	小泉 勇志	学校教育課課長補佐	池田 雅史
学校教育指導主事	小田島 健	学校教育指導主事	石田 貴之

：欠席者

## 1. 開会 午後1時30分

## 2. 開会宣言並びに令和8年第3回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第4回定例会の開会を宣言します。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等あればお願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告をお願いします。

## 3. 教育長報告

- 3月 5日(木) ・定例教育委員会
  - 3月 6日(金) ・富貴中卒業式(森田委員、堤田委員)
  - 3月10日(火) ・定例校長会議
  - ・学校運営研究会
  - 3月13日(金) ・文教厚生委員会
  - 3月19日(木) ・富貴小卒業式(浅野委員)
  - ・表敬訪問
- 令和7年度 JOC ジュニアオリンピックカップ文部科学大臣旗

未来くん杯第 20 回全国中学生空手道選抜大会 出場予定  
(令和 8 年 3 月開催)

- 武豊中 2 年女子 武豊中 1 年女子  
武豊中 2 年男子 富貴中 1 年男子
- 3 月 31 日 (火)
- ・退職者辞令伝達式
  - ・表敬訪問
- 第 50 回全国高等学校総合文化祭に県代表として器楽・管弦楽部門のヴァイオリン奏者として出場予定(令和 8 年 7 月開催)  
安城学園高等学校 2 年
- ・表敬訪問
- 第 5 回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会  
(令和 8 年 3 月開催)
- 中学 3 年男子軽量級 (55kg 未満の部) 3 位 武豊中 3 年
- 4 月 1 日 (水)
- ・学校管理職発令通知式
  - ・教育委員会発令通知式・辞令伝達式
- 4 月 3 日 (金)
- ・知多地方教育事務協議会 (森田委員)
- 4 月 4 日 (土)
- ・湿地を守る会総会
- 4 月 8 日 (水)
- ・緑丘小入学式 (堤田委員)
- 4 月 9 日 (木)
- ・武豊中入学式 (浅野委員)
  - ・定例教育委員会

(教育部長) 議事進行を教育長にお願いします。

#### 4. 議 事

(教育長) 議案第 15 号「武豊町教育支援センター(ステップ)設置に関する要綱の一部改正(案)」について、事務局、お願いします。

議案第 15 号「武豊町教育支援センター(ステップ)設置に関する要綱の一部改正(案)」について

(池田 学校教育課 課長補佐) 資料 1 の説明

改正内容は、第 4 条の対象者について、社会的な自立に向けた支援に対してという文言を追加し、第 2 項の学校復帰という表現を学びの場の充実に改め、保護者、学校に加え及び関係機関という文言を追加した。この要項は令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

(教育長) 今回の件でご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問がないということで、採決に入ります。議案第 15 号「武豊町教育支援センター(ステップ)設置に関する要綱の一部改正(案)」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) それでは、続きまして、議案第 16 号「武豊町文化財保護委員の委嘱(案)」について、事務局、お願いします。

議案第 16 号「武豊町文化財保護委員の委嘱(案)」について

(奥野 歴史民俗資料館長) 資料 2 の説明

6名の文化財保護委員の内、再任が3名、新任が3名である。任期は、令和8年4月1日から令和11年3月31日。

(教育長) 今の件でご質問等はございますか。

(教育長) ご意見・ご質問はないということで、採決に入ります。議案第 16 号「武豊町文化財保護委員の委嘱(案)」について、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手をお願いします。

<全員挙手>

(教育長) 本案を承認可決することといたします。

(教育長) 以上で議事を終了し、進行を教育部長をお願いします。

## 5. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 令和8年度 学校役職員及び教育委員会事務局管理職・異動職員名簿について

(指導主事) 資料 3 の説明

- ・学校では、教頭 2 名、教務主任 2 名、校務主任 3 名が異動により変わった。
- ・事務局の異動は備考欄に前年度の課を記載。

(2) 令和7年度 後援申請一覧(後期分)について

(学校教育課 課長補佐) 資料 4 の説明

学校教育関係 後期申請分 8 件

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料 4 の説明

生涯学習関係 後期申請分 7 件、スポーツ関係 後期申請分 4 件

(町民会館 事務長) 資料 4 の説明

町民会館 後期申請分 11 件

(3) 令和6年度 小中学校月別残食率について

(給食センター 所長) 資料5の説明

- ・残食率は、蒸し暑い時期になると高くなり、涼しい時期になると減少する傾向にある。また、インフルエンザやコロナが流行したことで、11月、12月、2月の残食率が高くなっている。
- ・令和6年度と比較すると、小学校はほぼ変わらない数値だったが、中学校の残食率は若干増加している。

(4) ゆめたろう塾実績報告について

(生涯学習スポーツ課 課長補佐) 資料6の説明

- ・土曜日の午前中 毎月2回 年間24回実施
- ・参加延べ人数 346名(1回につき平均14名程度が参加)

(5) 令和8年度 武豊町教育委員会点検評価委員会(令和7年度分)について

(指導主事) 資料7の説明

- ・令和8年度教育委員会点検評価委員会を7月22日(水)に予定
- ・項目の変更はなし

(6) 武豊町教育委員会情報セキュリティ規程について

(学校教育課 課長補佐) 資料8の説明

令和8年4月1日の地方自治法の改正により、サイバーセキュリティの確保など、情報システムの適正な利用を図るため、すべての執行機関等がそれぞれ策定する必要が生じたためである。この規程は令和8年4月1日から施行。

(7) 武豊町立学校情報セキュリティ基準について

(指導主事) 資料9の説明

教職員の校務に係る生成AIの利用についての基準を定めた。この基準は令和8年4月1日から施行。

(8) 学校の近況について

(指導主事) 当日配付資料の説明

各校の様子や新体制等について、宿泊行事等について 等

(9) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料10の説明(4月~7月)

6. その他

(1) 町民会館より 配付資料

- ・各種事業について

(2) 生涯学習スポーツ課より

- ・武豊町生涯学習だより「Culture&Sports」について

(教育部長) それでは、教育委員さんからお気づきの点があればお願いします。

(教育委員)

- ・ 小学校と中学校の入学式に出席させていただきました。小学校は、新1年生の落ち着かない姿が可愛らしくて、とても印象的でした。小学校での6年間の生活を経て、卒業の時に立派に成長した姿を見るのが楽しみです。中学校の入学式では、凛々しい表情の中にも緊張した表情が見て取れました。中学校3年間の生活が充実したものになるよう、様々な場面での活躍を祈っております。小学校も中学校も始業式を迎えて、新学期がスタートしました。共通して言えることですが、進級をして環境が変わることで、体調を崩したり、心に変化が現れたりするともあるかと思えます。先生方には、新学期始まってしばらくお忙しい日々を送られると思いますが、アンテナを高くしていただき、子どもたちの変化に素早く対応していただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・ 町内の多くの地区で祭礼が行われます。先週は富貴地区で行われておりましたし、今週末も長尾区でしゃんぎり祭りが行われます。子どもたちはお囃子を奏でたり、山車を引いたり、見物したりと、参加するという形には違いはありますが、伝統文化に触れることができるとてもいい機会であります。山車の運航という共通の目的で地域の方々と繋がり支え合うことのできる祭りは、コミュニティそのものの姿だと思っております。全国的には、祭りに参加する人たちが減少して、担い手不足が深刻な問題となっています。コミュニティそのものの姿である祭りがなくなると、地域での繋がりが乏しくなり、子どもや若い世代が地域の大人と関わる場が減ります。また、地域固有の踊りや歌、お囃子などの伝統文化の継承の心配もあります。武豊町内の子どもたちには、ぜひとも祭りに触れていただき、町内の11台の山車とともに、歌や踊り、お囃子を後世に引き継いでほしいです。各校で進められているコミュニティスクールと祭りを紐付けることで、地域と学校が一体となり、そのつながりが一層活性化されるとよいと思っております。

(教育委員)

- ・ 私も祭りの話になりますが、小さい時から JR 武豊駅の近くに住んでいるので、祭りの時には、家の2階から山車が移動している様子を見ることができます。夕方になると、JR 武豊駅付近に山車が並ぶので、家の付近は車の規制があります。そういった祭りに関わることを、子どもの頃に父からいろいろと聞かされてきました。女の子は山車に触ってはいけないと言われていた時期もあり、その当時、父親に不満をぶつけていた覚えもあります。今では、そういうこともなくなり、祭りも開かれた形になっています。お囃子をしている子どもたちも、ずいぶん長い時間練習をしていると思います。「祭り」という文化は、どういう形でもよいので、その時代に合った形で残ってくれることを願っています。

#### (教育委員)

- ・ 先日、衣浦小学校の卒業式に参加させていただきました。卒業生のとても立派な姿が大変印象的でした。また、在校生の4、5年生も卒業式に参加していましたが、体育館に入ってから卒業式が始まるまでの間や卒業式での声かけや歌など、どの姿も素晴らしく、在校生のこのような姿があるから、最高学年の卒業生も立派な姿になったのではないかと思います。卒業生と在校生のつながりを感じることができ、とても気持ちがよい大変すばらしい卒業式でした。また、校長先生に卒業式当日の撮影スポットとして活用する卒業証書の大きなパネルを見せてもらいました。これは、厄才の方の寄付で作成したようです。寄付の使い方はそれぞれ学校で判断することになりますが、子どもや保護者のニーズに合ったものになっており、とてもよいと思いました。富貴中学校の卒業式では、卒業生が男女混合名簿の順番で卒業証書をもっていましたが、歌のときには、卒業生が自席を離れ、男女別に分かれて歌っていました。それぞれの学校の規模や地域性もあると思うので、卒業式にも学校の特色があつてよいと思いました。
- ・ 先日、入学式にも参加させていただきました。年度始めの子どもたちからは、緊張感をもった姿が多いと思いますが、今後その姿が少しほどこけてきた時を先生方には大事にさせていただきたいと思います。それと同時に、先生方も心身ともに張り詰めたものがあるかと思っています。周りの先生方と支え合いながら、健康でいてほしいと思います。

#### (教育委員)

- ・ 武豊中の卒業式に参加させていただきました。新制服で迎える入学式はこれで2年目になります。金銭的な負担の部分もあるので、兄弟関係等のお下がりの着用がもう少し多いと思っていましたが、武豊中学校では男子で学ランを着ている生徒は1名、女子でセーラー服を着ている生徒は3名でした。学校教育課が丁寧に準備を重ねてきた制服なので、子どもたちに気に入ってもらえたのではないかとうれしく思っています。
- ・ 先ほどの報告で、ゆめたろう塾の実績報告がありました。参加人数が多く、非常によいことだと思います。家庭環境によっては、学習意欲があつても私塾に通うことができない子どももいます。本人の中で悶々としている部分を、セフティーネットで拾ってあげられることはとてもよいと思います。もしかしたら、先ほどの報告人数以外にも、参加したいけれども最初の一步が踏み出せない子どももいるかもしれません。その子たちのハードルを下げられる何かがあると、背中を押してあげることができるのではないかと思います。
- ・ 報告にあつたように、児童生徒数は、中学生で26名、小学生は12名の減少です。確かに減少はしていますが、1学年に換算すると、それぞれ中学生が9名、小学生2名になるので、どちらかという、減少の歯止めはかかりつつあると感じております。
- ・ 先日、算数障害の記事があつたので紹介させていただきます。前回の定例教育委員会で話題にしたディスクレシアの話で、算数障害だけではなく、言語障害もあると、文字は読めるのですが、頭に入ってこない。問題が分からないのではなく、問

題が入ってこないという状態です。視覚的には無理だけれども、聴覚的には大丈夫なので、問題を言葉で読み上げると、問題を解くことができる。そういうところがあるのが言語の部分です。算数障害はスクリーニングで、どのように見つけるかという、10までの足し算と引き算を解くことができるかできないかということと、解いている時にどのように解いているかを確認するそうです。頭の中で考えて解いているのか、それとも視覚的に指を使って解いているのかというのが、普通の算数のテストでは見えてこない。結果だけではなく、検査中の様子を見るということが1年生で必要になってきます。4年生ぐらいになると、算数で困っているという相談を受けることが増えるとのこと。低学年のうち、そのうち分かるようになると放置されることが多く、その子たちが分からないまま高学年になり、心配になって相談するということがあります。そうならないためにも、高学年になる前に障害なのか見極める必要があると思います。障害ということになると、その対応は家庭では荷が重いのではないかと思います。ただし、先生方の中にも算数障害っていう名前は知っていても、対応方法がよくわからない方もいると思います。記事の中にもありましたが、教育委員会で対応を考えておりました。早期対応をするためにも、可能であれば、早い段階でスクリーニング検査を実施できる体制を整えられるとよいと思います。

- ・ 学校の先生方は、勉強の仕方に関してそれぞれの考えがあると思います。私は高校生の時に、先生から目から鱗のような勉強の仕方を教えてもらいました。例えば、数学の教科書の中には、例題と類題があります。例題には答えがついていますが、それはその問題の解き方を覚えるためにあるとのこと。例題を解いて、答えを見て、解き方を知り、そして類題を解く。これが予習であり、授業は復習という考え方です。この先生は予習8割、復習2割と言っていました。英語の予習は読んで分からないところに線を引くだけである。初見で書き写しても身にならないというお考えでした。その教えから年月が経ち、子どもたちが推しのコンサートに行く前に、CDをたくさん聞いていたのを思い出しました。知らない曲をコンサートで歌われても面白くないから、事前にたくさん聞いて曲を覚えていく。授業も一緒だと思いました。知らないことを先生が説明しているだけの授業は面白くない。分からないことを自分の中でもった上で、その分からないことを先生が説明してくれたら、授業は面白く感じるし、理解も早くなると思います。他にも、知らない曲を友だちがカラオケで歌っていても、それは上手か下手か分かりません。だけど、何回でも聞いたことのある曲を友だちが歌っていたら、その子が上手か上手ではないのか分かると思います。知っているからこそできる判断です。だから、学校の先生に初見で教えてもらった内容について、その先生の教え方が上手なのか上手ではないのかということは判断できないと思います。自分が知っていること、分からないことを教えてもらうという視点がきちんと決まっていれば、先生の説明が分かりやすいのかも判断できると思います。これは私見になりますが、予習8割、復習2割というのは、授業も復習の中に入っているの、帰宅してからの復習はそんなに多くないということです。

(教育部長) ありがとうございます。以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

(一同) ありがとうございました。

令和 年 月 日

署名

.....

.....

.....

.....

.....

作成者 小田島 健